

(有)小田桐石材青森県むつ市仲町15-8
TEL.0175-33-3166 FAX.0175-23-3425

対談

代表取締役

小田桐 隆夫 × ファイティング原田

インタビュー

【日本プロボクシング協会会長】

INTERVIEW
TAKAO ODAGIRI × FIGHTING HARADA

お墓は未来の心の我が家——一人一人の人生を具現化する墓石を提案



原田 本日は青森県むつ市の南小田桐石材さんを訪ねました。対談前に施工例を拝見しましたが、どれも立派なお墓ばかりですね。東京ではとても考えられませんよ。

小田桐 そうかも知れませんがね。東京はまず土地が高いですし、広さも関係してくるのと同じようなお墓ばかりですが、こちらでは皆さんそれぞれの思いを込めた個性あふれるお墓を建てる方が多いです。私自身お墓というのはとても地域性があると考えており、そういう意味では文化の違いにも繋がるのかなと感じます。

原田 いずれにしても、故人やご先祖に対する思いをお墓に込められるというのは、とても幸せなことも知れませんか。

小田桐 生きている時に住む家には皆さん相当こだわりを持たれるでしょう。お墓は未来の我が家と言っても過言ではなく、今はそういうこだわりを持って自らお墓を立てる生前墓のニーズが増えています。

原田 なるほど。自分で入りたいお墓を既につくっておくわけですね。

小田桐 はい。生前墓のメリットとして、例えばご夫婦で建立された場合それぞれの名

前が並んで建てる者としてお墓に刻まれますから、一〇〇年経ってもそれが残ります。ご夫婦どちらかが亡くなってからお墓を建てるとそうはいきません。

原田 夫婦の名前が刻まれたお墓と一緒に入るとはロマンチックですね。話を聞いてお墓に対する考え方が変わりました。

小田桐 とりわけ昨今は本当にお墓に対する認識が変わってきたと感じます。先日も「おしどりの絵をお墓に刻んでくれないか」と希望するお客様がおられました。これから色々と検討して、少しでもご希望に沿うような美しいおしどりの姿をお墓に刻めたいと思っています。

原田 思い入れが強いと、それに対応していくのも大変でしょう。

小田桐 全く逆でして、色々と工夫できるという意味から意欲が湧いてきます。ですからお一人お一人の考え方や生い立ちをできるだけ詳しくお聞きした上で提案させて頂きます。私自身お墓は「いつか心が帰る場所」と考えています。故人やご先祖を敬う気持ち大切にしながら新しい商品開発に取り組んでいます。例えば納骨にしても今まではただコンクリートに囲まれた場所でしたが、それでは寂しいと思ったものから、般若心経の文字で囲んでご先祖様をお守りするようになりました。

原田 お客様の反応はいかがですか。

小田桐 皆さん感動されます。特に遠方にお住まいで「来たいけれどなかなかお墓参りができない。でもどこかでいつも気に掛けている」というような方のお気持ちには応えられるのではないかと思います。

原田 お経で守られていると思うと安心します。そういえば最近は大きな地震で墓石が倒れているのをテレビで見掛けましたが。

小田桐 地震の多い日本においては墓石の耐震性も重要でして、倒れてしまえば復旧作業にもかなりの時間を要しますから、そうならないよう早めに予防策を講じなければなりません。私どもでは地盤調査に基づいて設計し、お墓の基礎に鋼管杭と鉄筋を入れることで耐震性を高めています。

原田 新しいアイデアを積極的に駆使し、より良いお墓づくりに尽力されていることがうかがえます。

小田桐 私どもはもとも石材のモニュメント製作を中心に行なっていましたから、アイデアを生み出して形にすることは得意なのです。ちなみに墓石は五年前から取り組み始めたのですが、これまでの墓石のイメージに捕らわれることなく自由な発想を尊重しようと思っています。この事業を始めてからというもの本当に充実した日々を送れていると実感しますし、悲しみの中でお墓を建てられる方の気持ちに寄り添いながら、これからの誠心誠意の気持ちを込めて墓石づくりに携わりたいですね。

原田 営業活動などはされるのですか。

小田桐 親族が亡くなって、お墓のことを考える余裕すらないほどつらいお気持ちの方に、「お墓はいかがですか」とお話しするのは失礼だと思えますので、営業活動は一切行ないません。お墓を建てたいと思う気持ちを大切にしたいと考えています。

小田桐 おっしゃる様に需要は減る一方ではないかと思えます。そこでこれから伸ばせる事業として考えているのがお墓のリフォームでして、古くなったお墓を綺麗にできるような仕組みづくりに取り組んでいるところです。また、勇気づけられるような明るいお墓があってもいいと思いますので、そんなお墓づくりにもどんどんチャレンジしたいですね。

原田 そうなれば日本のお墓のイメージが一変されるかも知れませんが、今後ますますの活躍に期待しています。

◇INFORMATION

|いつか心が帰る場所…高級和型から洋型まで、様々な要望にお応えします。|

